

みんなが過ごしやすい! 環境づくりのすごいコツ

保育者の話を聞くのが苦手だったり、おしゃべりができないから……。
「もう、言っているでしょ!」上回ってしまうために、お部屋の環境を見直してみませんか。

目次
能力 認定こども園こどもらら 東横さくら幼稚園(埼玉県久喜市)

好きな遊びができるように
ゾーン分けする



{ スペースを明確にする }

安心への近道は
「ここに行けば、これで遊べる」

朝からボーッとしていたり、お友だちの遊びをじゅんじゅんしてしまうのは、白蛇では違うおもちゃや友だしなど、たくさんの刺激に混乱している状態と考えることもできます。この混乱を少なくする方法は、「ここに行けば、これで遊べる」というイメージがはっきりとわかるようにすること。

だから、「この遊びはココ」とゾーンを決めて分かりやすくしておくことが大切です。



ついたてで 落ち着けるスペース

ついたてで
落ち着けるスペース

一人だけ少し静かくつろげるゾーンもあるヒロ。スペースがとれないけれど、小さいバーベットや手帳の面を敷いて、つらなくてたまなだけでもいいような、

窓際で 落着けるスペース

やんしゃくを起こして寝れたり、泣いてしまったときは、一人になって気持ちを落ち着かせるようスペースをつくっておくことも大切。保育室内の休憩室なども参考して。



マットで スペースを区切る

なぜかあの子のまわりばかりに
トラブルが集中! そんなときは、マットの上に一緒に座れば、どちらも隠れて、逃げ隠しが防げます。



保育室の作り方



一人用のマット

「ここに集まってる」「ここ」どこにでも
座れます! マットの上に隠れっこして、お隠れゲームができます。

机間に隠れっこして楽しく集団の中では不器用になってしまったりも、自分のスペースが範囲になりますことでの安心感が生まれます。

ありかわちシーン別で“気になる子”がわかる



悪い言葉を言ってしまう

切り替え言葉を伝える

ネガティブな感情を理解するのが苦手だったり、友だちよりも優位に立ちたいときに、「ひど」と言ってしまうことがあります。思って通りにならないときは、「嫌い」、「うらやましい」という表現や、「まごいいから、仕方ない」という切り替え言葉があることを伝えます。

取りたてで反応しない

取りたてで反応する、悪い言葉で評議を食められると思い違いしてしまうことがある。そこで「それだけ」とあえて別の表現で繰り替えます。「シネ」など、本題にやあてほしINGのワードに対しては、「嬉しい気持ちになるから私は嫌だな。こういう言葉はやめようね」とはっきり言います。

がんしゃくを起こす

ヒコピンつきあう

自分がいるシナリオがありイメージ通りにならないときにがんしゃくを起こすことがあります。ではなぜがんしゃくを起こすことがありますか? 基本として重要なのは、自分たちが、すぐに周囲の人たちと一緒に行動をとることです。隠れる場合は、隠るから見えるようにして鮮かな場所に隠れていくようにしています。

クワイエットスペースで落ち着かせる

がんしゃくを抑えられない自分を見られたり、友だちと争つてしまったりは、友人が一番つらいもの。特に泣き声の子の場合には、すぐに周囲の人たちと一緒に行動をとることです。隠れる場合は、隠るから見えるようにして鮮かな場所に隠れていくようにしています。

行動 ACTION

(b) 例: 行動
基準する時間も行動もエスカレートすることがあります。両親ですが、がんしゃくにふりきわされるい保護者でいる間でも必要。

33

UND 2013.11

気にならなくなる

かかわり方編

が話を伺ったとき

川上慶樹先生
東京私立西山幼稚園園長
学校の往來で児童の実際の言語コードイーター。地域的に受け入れる心の保健の立場から、実践するペーパン保育。

鶴原直子先生
東京私立立教幼稚園園長
児童が企画などを積極的に実験的・実践的に行なう心の保健の立場から、実践するペーパン保育。



友だちの嫌がうことをする

まず行動を止める

制止しても行動が止まなければ、まずはその子と友だちとの距離を保つことです。「それはやっているといけないと」と罵られさせるとより、友だちとの「やりとり」の根本を具体的にやって見せます。

気持ちを交代しながら

その子が問題との関係の中で安心させていて、保護者との関係ができるいいかがい。隠れができない場合は、運動的に行動してしまったとしても「今、これまでやりたかったんだね」など、気持ちを代弁しながら阻止すればやめてくれます。

行動 切り替える

(b) 例: 行動
隠れができない場合、他本の「ダメ!」という言葉を力強くなりきり方に行動が変化してしまうといったケース。

「やめんと言葉で言いたい!」

そもそも自分を言葉で表現することがむずかしいから、行動で伝えているのがかもしれません。具体的にどんな言葉で表現したらよいのか伝えます。

32

一人でもくもくと同じことをしている

気になる子のいる近くで好きな遊びを发展させる
ずっと一人でやっていることが、その子にとってすごく好きでこれがのあることなら大事にしてあげたいですね。例えば、いつになっても一人で砂場遊びしかしない子どもが気になるのであれば、その子を中心に遊びが広がるように、ほかの子も一緒に遊ぶといいの一つです。保護者が一緒に遊んでいると、しじみとまわりの子どもたちが集まっています。

i 目的もなく同じ動作をくり返している子には?
(b) 例: 行動)

「目的もなく」と感じたことが、その子にとってはすごく意味のあることなのかも。子どもの根柢の先にあるものを、隠してみて、隠してみたり、隠こきをやってみたらわかるかもしれません。保護者と2人で同じものを見ていることに、うれしそうなそれが見られたら、保護者と保護者を中心の基盤にして、少しずつほかの子遊びへの興味が広がり始めると思います。

遊びのルールを守らない

遊びが「こう待つ」を教える

順番を守るなど、ルールそのものを説明していない可能性はありますか。例えば、ここで何をつくって待つということを、ほかの子の声からわかる子もいるし、説明的に示す方法もあります。

「ルールを守ると楽しくなる」を教える

例えばフープ(バスケット)で、オーニング(からい)に立つ順序がないといつも立つ場合は、ルールを確立しているというよりも「やれりたい」気持ちが強くても順序が見えなくなっている状況。こんな場合はルールを少しアレンジして、「次は一番早く裏れた子がオーニングなど、「ルールを守るとおもしろい」ということを経験させて。

35 UND 2013.11

33

